

前回会議での主な意見と今回会議資料への反映

【参考資料】

委員	意見	反映場所	反映内容
市原委員	地方都市においては、若い人は集まりにくいので、待つだけではなくこちらから発信していく必要がある。	⇒ P.20 第1 多様な人材の就業促進 (2) 中小企業の若年者採用支援	市内企業の若年者採用を支援するため、求人・求職のマッチングや、中小企業が持つ魅力や特色を若年者に伝えていく取組の強化等を図ります。
岩淵委員	インターンシップや企業見学。通常は企業が直接高校や大学と交渉するが、そういうことができない中小企業への支援が必要。	⇒ P.21 第1 多様な人材の就業促進 (2) 市内中小企業の若年者雇用支援	若年者が市内企業を知りイメージを持つ契機として、市内企業及び教育委員会・高等学校等の協力を得て、企業見学会やインターンシップ等を実施・拡大します。
市原委員	就職活動している人にとって、インターンは具体的に業務を知る良い機会になる。		
鈴木委員	地域資源活用アドバイザーが佐倉Y.M.O.プロジェクトに関与できた。第二、第三のプロジェクトがあれば、是非、専門人材を活用いただければ。	⇒ P.25 第2 企業の競争力強化 (4) 地域資源等を活用した新商品の開発	「ふるさと名物応援宣言」に基づき、地域ゆかりの農産物や加工品、観光地等の地域資源を活用した事業者の商品開発や販路開拓等を支援し、地域ブランド力の創出・向上を図ります。
鈴木委員	よろず支援拠点のサテライト相談所を県内12エリア21か所で開催しているが、利用者が頭打ちしている感がある。	⇒ P.29 第4 市内事業者が佐倉で活躍し続ける環境づくり (1) よろずサテライトの積極的な活用	千葉県よろず支援拠点のサテライト相談所や、日本政策金融公庫の出張相談回答を活用して企業の経営支援を行い、市内における経営相談機能の強化を図ります。
三橋委員	後継者がいないと意欲につながらない。その先のことを一緒に考えてくれる人がもっと身近にいると良い。	⇒ P.29 第4 市内事業者が佐倉で活躍し続ける環境づくり (4) 事業承継・M&A支援	千葉県事業引継ぎ支援センターや商工会議所、千葉県よろず支援拠点、認定支援機関等と連携し、経営者の事業承継に対する意識を喚起する
小川委員	事業承継支援に関する具体的な情報が事業者に入っておらず、何をどうしたらよいかわからない。		
羽根井委員	台風による災害。保険に入っている場合は大丈夫なのだと思うが、入っていない場合はどのような対処ができるのか。	⇒ P.34 第4 災害などに強い農業の推進 (2) 経営・災害リスク等への備え	災害に強い農業用施設等の強靱化に資する対策を支援します。また、災害を含めた様々なリスクから農業経営を守る収入保険等への加入を促進します。
小川委員	事業者にはインターネットやメルマガに慣れていない人も多い。分かりやすく伝えていく必要がある。	⇒ P.37第3章 ビジョンの実行力を高めるために 2. 国・県・市の施策の周知・啓発	国・県・市が行う施策については、わかりやすく取りまとめ、事業者や農業者等に対して、産業振興に係る主要施策について説明する
坂口委員	先進市では、複数の古民家や空き店舗を活用した宿泊施設の取り組みがある。	⇒ 別冊「観光グランドデザイン」P.26 施策(1)二つの核となる観光拠点整備 取組1 古民家の有効活用(城下町地区)	旧今井家住宅、旧平井家住宅をはじめとする古民家について、集客のみならず、飲食、宿泊、物販などの消費を促す施設への活用を図ります。
山崎委員	学校やスポーツクラブの合宿、企業のセミナーなどをうまく取り入れられると良い。	⇒ 別冊「観光グランドデザイン」P.31 取組27 企業研修、大学のサークル・ゼミ合宿、スポーツ合宿、スポーツ合宿等の誘致	草ぶえの丘やサンセットヒルズ、岩名運動公園等において、企業の研修や大学の合宿向けのプランを企画するとともに、企業や大学へのダイレクトメールや直接訪問による営業を行います。
山崎委員	ボランティアで、どうやって参加していいかわからない人がたくさんいるように思う。	⇒ 別冊「観光グランドデザイン」P.39 基本方針⑤ 関係機関や市民との連携強化 施策(2)市民参画の促進	市民が自ら参画して楽しめるようなイベントや企画の実施等、市民参画型の観光振興に努めます。観光客へのおもてなしに関する講座を実施するなど、まち全体で受入環境の向上に取り組めます。